

令和3年12月15日  
東北地方整備局  
岩手河川国道事務所

復興支援道路《宮古盛岡横断道路》

宮古盛岡横断道路 <sup>くざかい</sup>区界道路（<sup>くざかい</sup>区界～<sup>やながわ</sup>築川）

開通1年後の整備効果について

令和2年12月5日（土）に開通しました、復興支援道路 宮古盛岡横断道路のうち、<sup>くざかい</sup>区界道路（延長約8.0 km）の開通1年後の整備効果をお知らせします。

- 宮古盛岡横断道路（区界～築川）の交通量は増加傾向
- 国道106号より宮古盛岡横断道路へ約9割が転換
- 休日交通量が平日交通量を上回る状況
- 道路の整備により、都市間バスの利便性向上や物流効率化に寄与

《交通状況》

- 平日交通量は、断面で約400台/日、約8%増加
- 休日交通量は、断面で約2,500台/日、約64%増加

《整備効果》

- 都市間バスの利便性の向上
  - ・都市間バスが最大45分の所要時間短縮となり、運行パターンが3種類に増加
  - ・開通により新サービスも開始され、宮古市～盛岡市間のバスの利便性向上に寄与
- 物流効率化に寄与
  - ・道路の整備により、被災地沿線の店舗数が拡大、岩手県外にも新規店舗が展開
  - ・復興道路の利用により、輸送時間や輸送コスト、商品の安定供給を実現

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>

（問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

TEL 019-624-3196（課直通）

調査第二課長 <sup>てら</sup>寺 <sup>やま</sup>山 <sup>ゆう</sup>雄 <sup>だい</sup>大（内線451）

# 【開通1年後】

みやこ もりおか

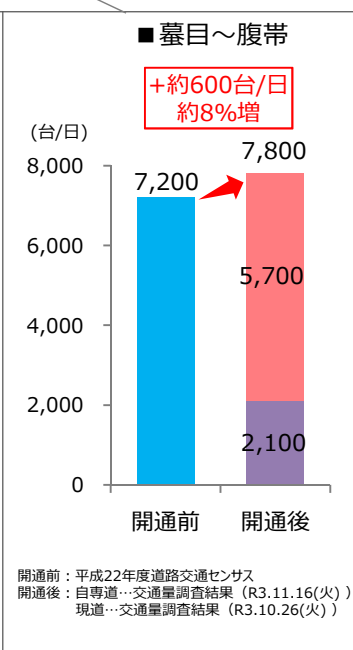
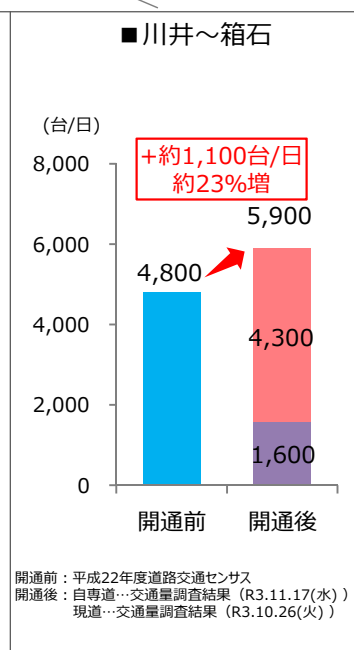
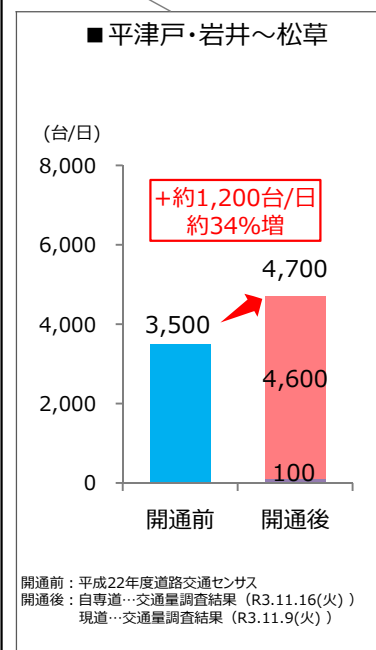
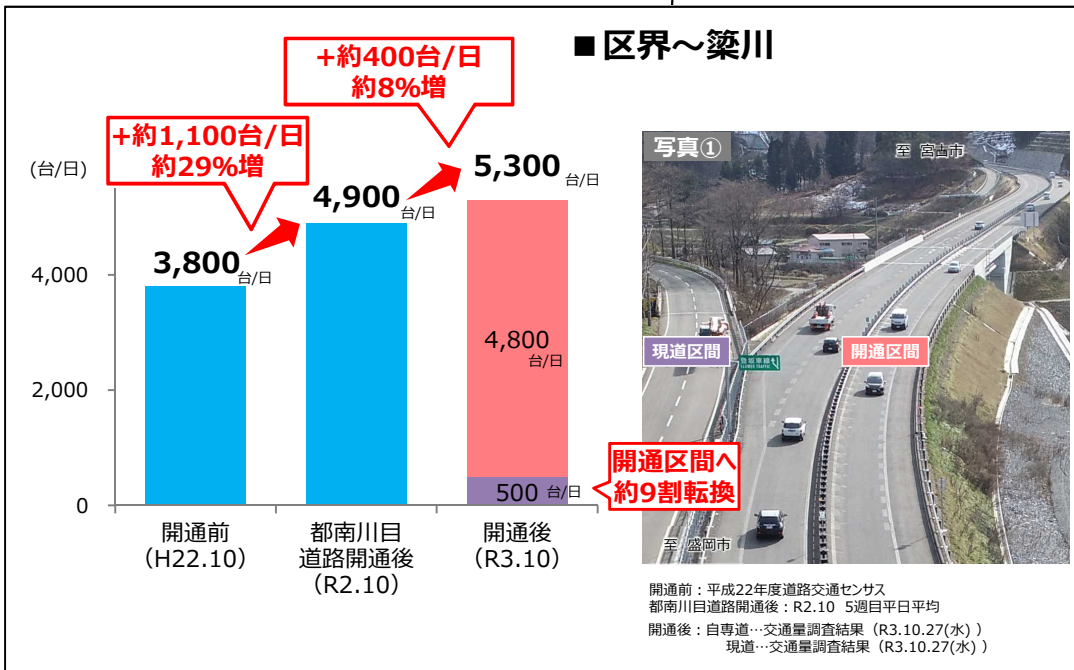
くざかい やながわ

## 宮古盛岡横断道路 区界～築川が全線開通して

平日交通量 (速報値)

(令和2年12月5日開通)

- 開通1年後の区界～築川の平日交通量は5,300台/日の利用、約9割が国道106号現道区間より転換
- 開通前の前年同時期比較では、開通による誘発交通として、断面で400台/日増加 (約8%増加)

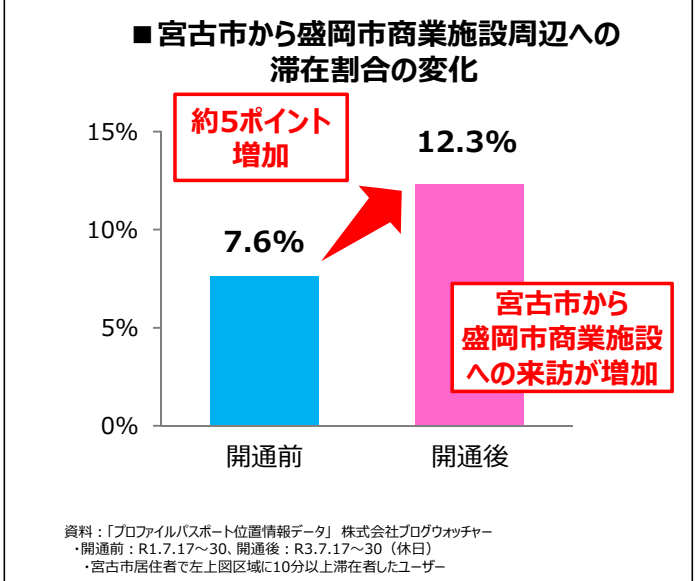
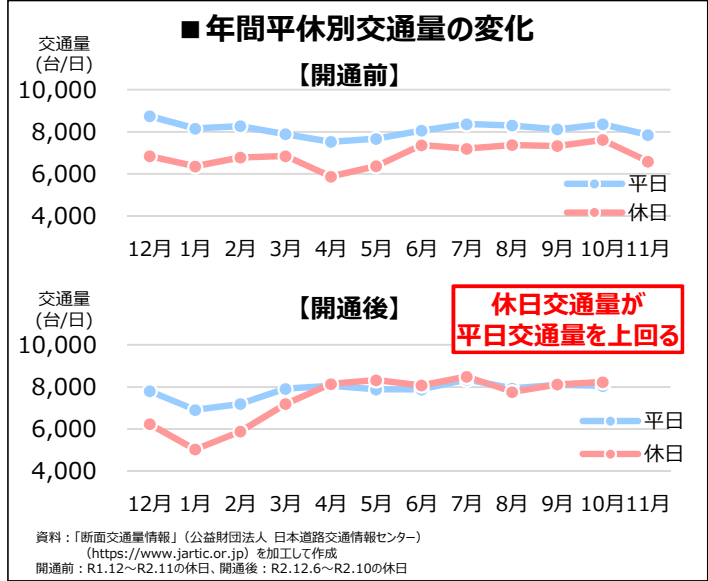
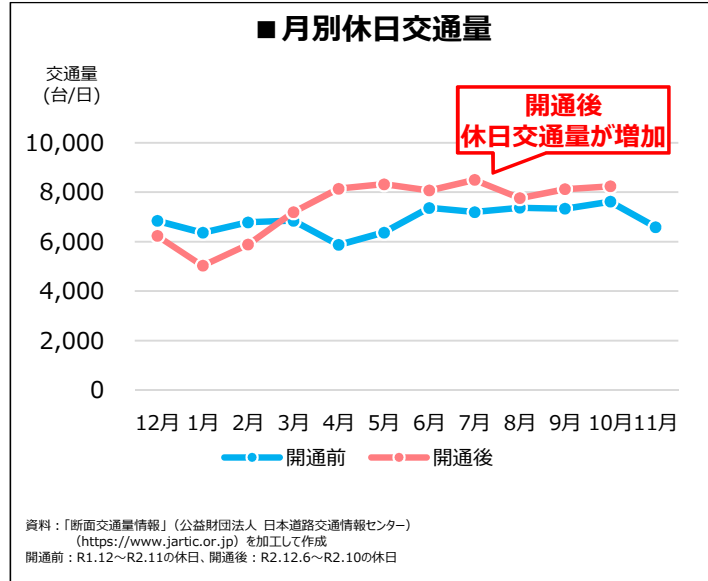
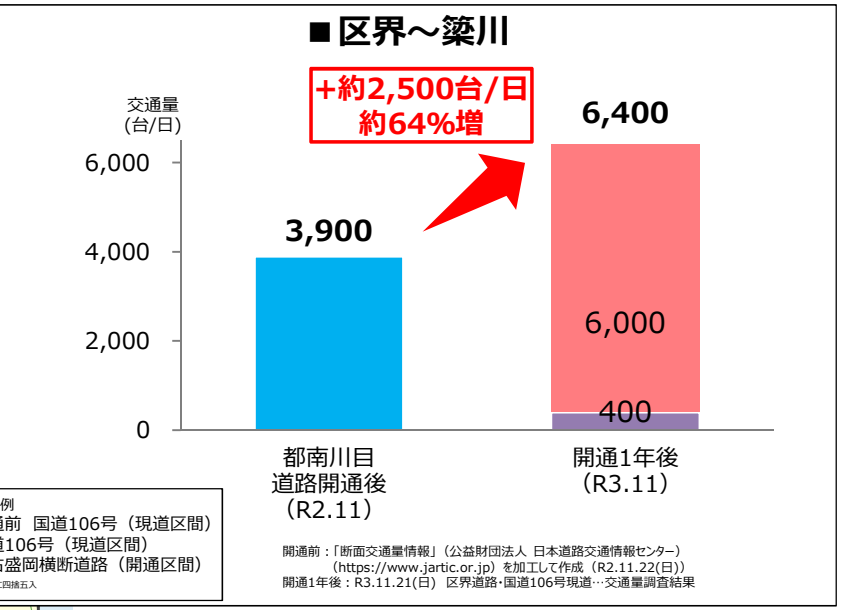


# 【開通1年後】

## みやこ もりおか くざかい やながわ 宮古盛岡横断道路 区界～築川が全線開通して

休日交通量（速報値）（令和2年12月5日開通）

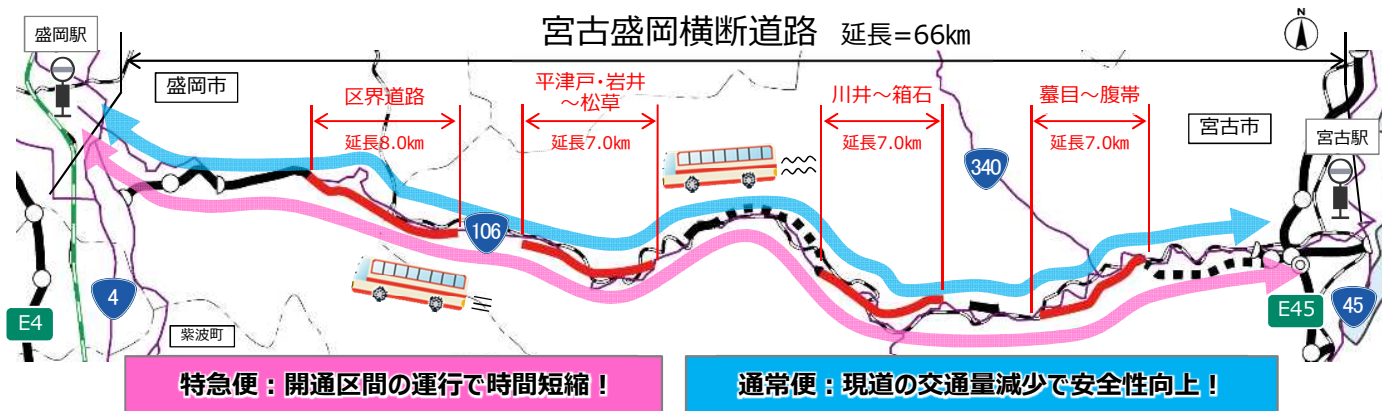
- 開通1年後の休日断面交通量は6,400台/日、前年同期比で約2,500台/日増加（約64%増加）
- 開通後に休日交通量が増加し、休日交通量が平日交通量を上回る状況へ傾向が変化
- 全線開通もあり、宮古市から盛岡市の商業施設周辺への滞在割合が増加傾向





# 都市間バスの利便性の向上 ～都市間バスの時間短縮・種類増加・新サービス開始～

- ◆ 盛岡市～宮古市間（約100km）を結ぶ都市間バスは、約40年前より運行を開始、市民の足として活躍
- ◆ 宮古盛岡横断道路の開通により、最大45分の所要短縮が可能となり、バス便数が3種類に増加
- ◆ 盛岡市の商業施設までの延伸や通院セットプランの販売も開始され、宮古市～盛岡市間を結ぶバスの利便性向上に寄与



特急便：開通区間の運行で時間短縮！

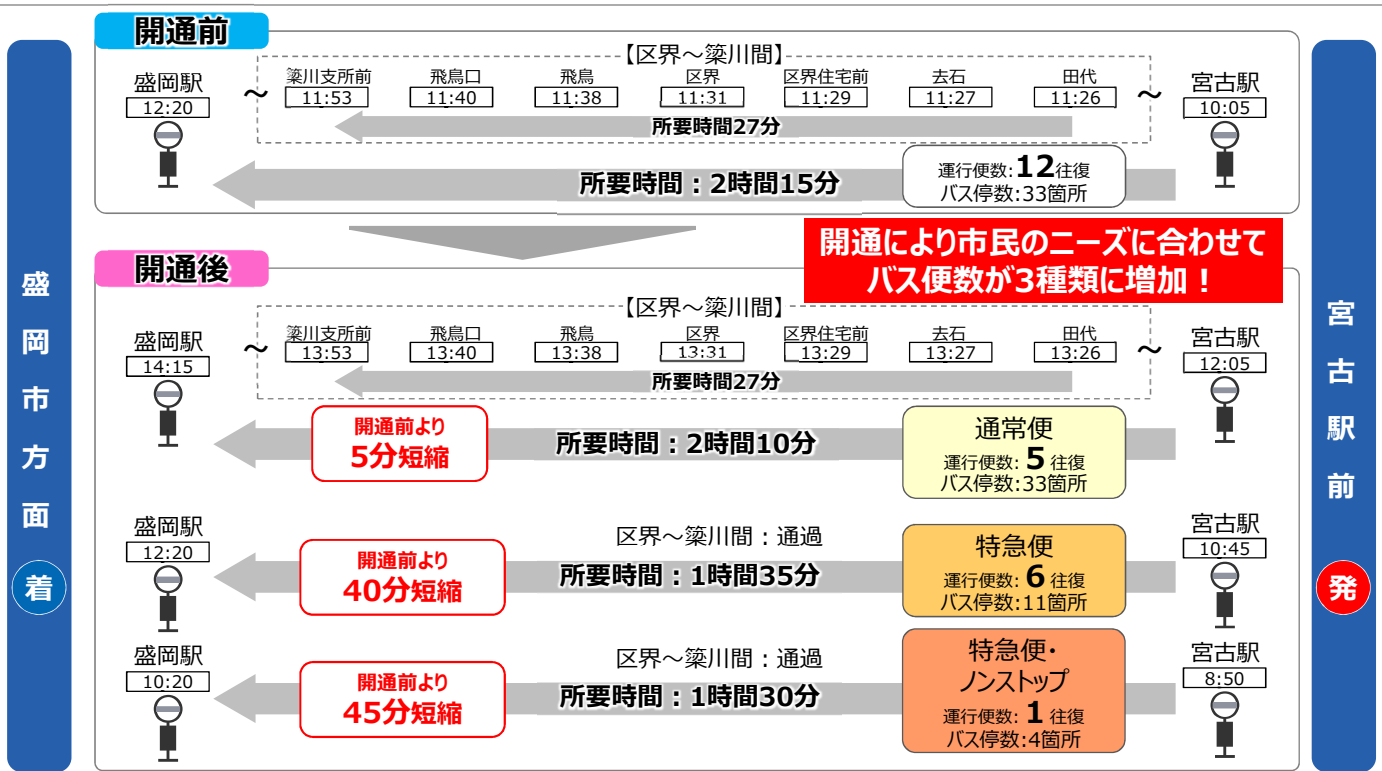
通常便：現道の交通量減少で安全性向上！

## ■ 開通前後のバス所要時間の変化

## ■ 宮古市～盛岡市間を結ぶバスの新サービス



出典：地理院地図に路線番号、主要施設等を追記して掲載  
**盛岡市の商業施設への延伸や、通院セットプランを新たに開始**



開通により市民のニーズに合わせてバス便数が3種類に増加！

盛岡市方面

宮古駅前

### ■ バス事業者の声

・宮古盛岡横断道路（区界～築川）開通後は約半数の便で開通区間を利用したルートに変更し、さらに全線開通後は、特急便等を新たに編成し、大幅な時間短縮となっています。

・道路開通もあり、延伸便や通院セットプランの新サービスを開始しました。

(R3.11 ヒアリング調査結果)

### ■ バス利用客の声

・所要時間が短くなったことで、身体負担が軽減し、盛岡市への買い物も気軽に行けるようになり、予定が立てやすくなりました。(50代・女性)

・盛岡市への通学で利用しています。朝はゆっくり出来るためバスの利用が便利になりました。

(20代・男性)

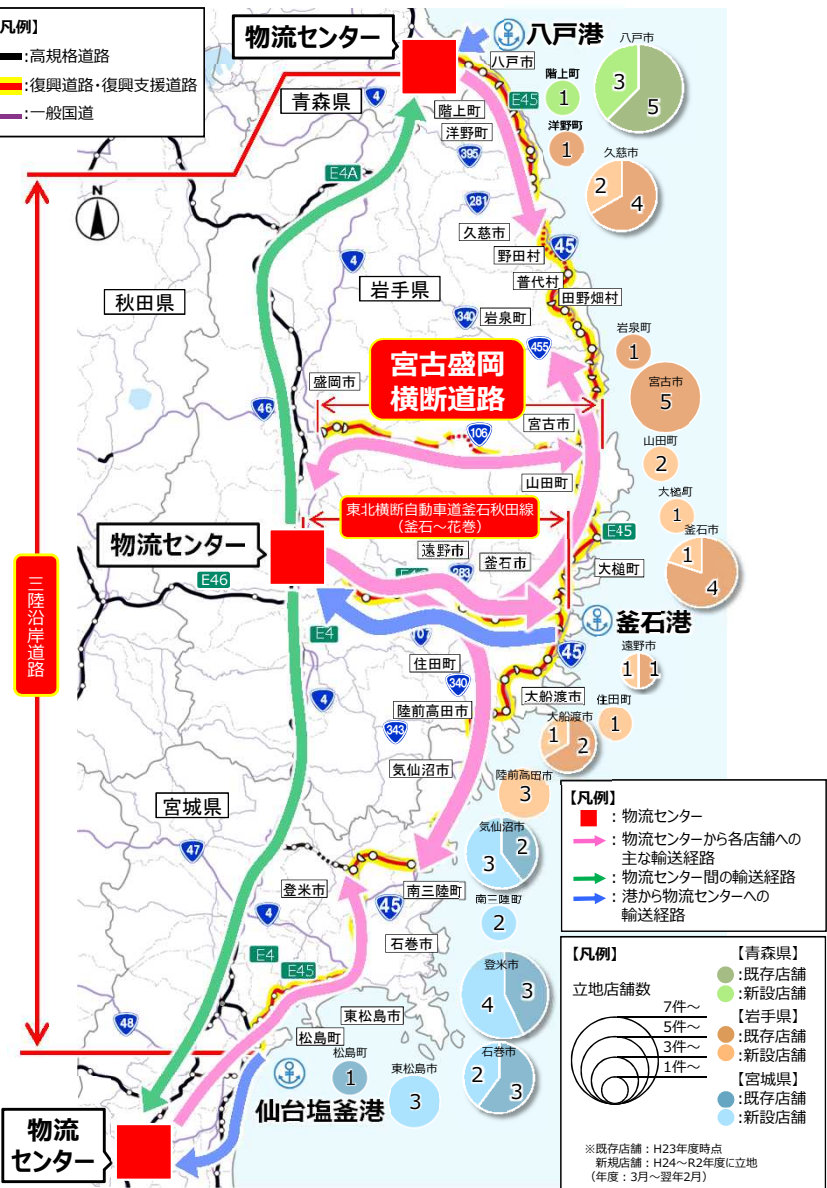
(R3.11 ヒアリング調査結果)

出典：岩手県北バス時刻表、平日・宮古駅前発の例（開通前R1.6時点、開通後：R3.4時点）

# 物流効率化に寄与 ～輸送時間・輸送コスト削減、商品の安定供給を支援～

- ◆ 岩手県内陸部にある日用雑貨取扱企業では、取扱量の約半数を釜石港利用に転換し、復興道路等を利用した輸送経路に転換
- ◆ 宮古盛岡横断道路等の整備により被災地沿線の店舗数が拡大し、岩手県外にも展開
- ◆ 宮古盛岡横断道路等の整備により、輸送時間・コストの削減、商品の安定供給を実現

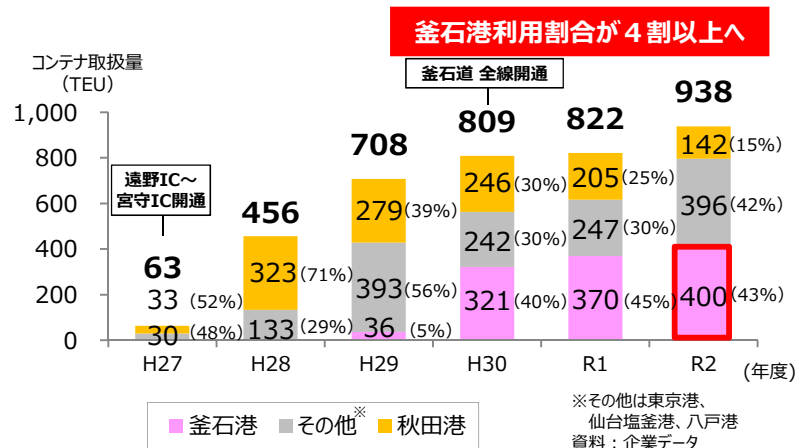
## 復興道路等沿線自治体における日用雑貨取扱企業の輸送状況と立地店舗数



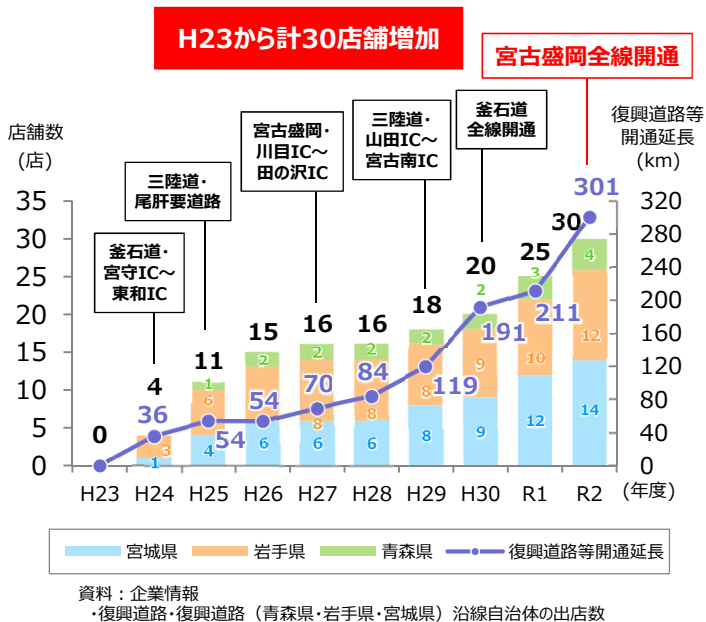
## 日用雑貨の例



## 岩手県内陸に物流センターを持つ日用雑貨取扱企業の輸入実績割合



## 復興道路等沿線自治体における日用雑貨取扱企業の出店数と復興道路等開通延長



## 日用雑貨取扱い企業の声

- ・復興道路等の開通後は、**配送担当ドライバーの残業時間削減**につながっており、輸送に関わる経費を抑えることができています。
- ・宮古盛岡横断道路の開通により、**配送が効率化され、1日2往復**ができるようになりました。**輸送コスト削減**や**商品の安定供給**が可能となっています。
- ・コロナ禍でマスク等の日用雑貨品需要が拡大し、一時的な配送混雑が生じましたが、復興道路等が整備されていたことで、大規模な混乱状態とならずに**商品の安定供給**ができました。



(R3.4・10・11 企業ヒアリング調査結果)